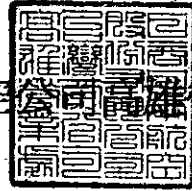


外發

第三層執行

日本航空總務部高雄營業處 函



地址:高雄市 800 中正三路 2 號 4 樓

電話:07-238-7116

承辦人:日本航空總務部 劉麗珉

受文者 :如收件單位

發文日期 :中華民國 100 年 9 月 1 日

發文字號 :日航高外發(100)字第 015 號

附件 :預定行程表、報名表、海報

主旨 :謹送「2011 年 JAL SCHOLARSHIP 日本研究 PROGRAM」甄選大學生
赴日參加研習活動報名表格式(如附件),敬請 惠允推薦優秀學生參加甄選。

說明 :

- 一、活動宗旨:增進亞洲各國學習日語之大學生對日本的深入了解,促進國際文化交流。
- 二、主辦單位:財團法人 日航財團
- 三、贊助單位:日本航空公司
- 四、赴日期間:2011 年 11 月 12 日(六)至 11 月 28 日(一)共 17 日
(如遇特殊狀況,將更改日期,敬請諒解)
- 五、台灣南部地區甄選人數:1 名
- 六、參加資格:20 歲以上、中華民國國籍、品行良好、身體健康、積極進取、有團隊精神、未曾在日本居住半年以上並對日本有興趣之大學、研究所在學學生,需具備一定程度之日語能力(日語能力檢定 1 級合格者)。
- 七、報名辦法
(一)參加同學提出以 600 字稿紙 2 張繕寫整齊的 1200 字日文小論文(限定以日文書寫)
題目:“活気あふれる日本を再現するためには~語ろう、探ろう、
日本の強み、日本の弱み “



(二).參加同學填妥報名表後，附上日語能力檢定 1 級合格證書影本及日文小論文之 PDF 檔，以 E-MAIL 方式傳至 li-ming.liu@jal.com

八、報名截止日期: 2011 年 10 月 05 日(星期三) 17:00 截止收件
一律以學校為單位,(每校最多推薦 2 名), 電子郵件報名。

九、評選方式:第一次書面審查合格者,將個別通知參加面試。

十、面試日期: 2011 年 10 月 13 日(星期四) (時間將另行通知)
面試地點:高雄市中正三路 2 號 4F
日本航空公司 高雄營業處

十一、公佈日期:2011 年 10 月 14 日(星期五) (將個別通知)

十二、經費:赴日之機票及期間之住宿、餐飲、交通費用等均由主辦單位負擔。

十三、此次活動為南部地區第一次舉行之活動，敬請學校鼓勵學生踴躍參加。

擬

- 1.請符合參加資格同學於 9 月 30 日中午前，備齊申請資料 PDF 檔以 e-mail 傳送至 yochitsai@mail.ncyu.edu.tw，主旨請註明「2011 日航研習申請」。
2. 本校最多推薦 2 名學生，報名額滿截止。
- 3.e-mail 通知各學院及公共政策所，並於本處網站公告。
- 4.文呈閱後存查。

專案小組
0905/1530

助理教授兼研究發展處
學術發展組組長 陳希宜

如擬

副教授兼研究發展處研發長 朱紀實

0907/0930

代
行
爲

正本：國立成功大學、國立中山大學、國立中正大學、國立高雄師範大學、國立彰化師範大學、國立嘉義大學、國立高雄大學、國立雲林科技大學、國立屏東科技大學、國立高雄第一科技大學、國立高雄應用科技大學、國立台東大學、國立虎尾科技大學、國立高雄海洋科技大學、國立台南藝術大學、國立台南大學、國立屏東教育大學、私立大葉大學、私立義守大學、私立高雄醫學大學、私立南華大學、私立南台科技大學、私立崑山科技大學、私立嘉南藥理科技大學、私立樹德科技大學、私立輔英科技大學、私立長榮大學、私立正修科技大學、私立建國科技大學、國立屏東商業技術學院、國立高雄餐旅學院、私立台灣首府大學、私立康寧大學、私立興國管理學院、私立台南應用科技大學、私立高苑科技大學、私立文藻外語學院、私立遠東科技大學、私立永達技術學院、私立大仁科技大學、私立中華醫事科技大學、私立和春技術學院、私立中州科技大學、私立環球技術學院、私立吳鳳技術學院、私立美和技術學院、私立稻江科技暨管理學院、私立明道大學、私立南榮技術學院、私立東方設計學院、私立大同技術學院、私立高鳳數位內容學院、國立台南護理專科學校、私立樹人醫護管理專科學校、私立慈惠醫護管理專科學校、私立敏惠醫護管理專科學校、私立高美醫護管理專科學校、私立育英醫護管理專科學校、私立崇仁醫護管理專科學校、國立台東專科學校

處長 松浦 衛



2011JAL スカラシッププログラム

記入日

年 月 日

写真

基本情報

名前

ローマ字

姓 名 Middle Name (if any)

カタカナ

姓 名 Middle Name (if any)

漢字 Kanji (if any)

姓 名

プログラム中に呼んでほしいニックネーム _____

国籍 _____

性別 男 女

生年月日 _____

年齢 _____

月 / 日 / 年

現住所 (郵送に使用いたします。国名から郵便番号まで含めて、自宅のご住所を明確に記入してください。カタカナ使用不可。)

電話(国番号を明記してください) _____ FAX(同左) _____

E-mail Address _____

パスポート番号 _____

緊急時の母国の連絡先

名前 _____ 続柄 _____

住所 _____

電話(国番号を明記してください) _____ FAX(同左) _____

E-mail Address _____

学校名 _____

専攻 _____

母国語 _____

日本語能力

日本語検定 () 級 () 年

日本語履修暦

英語能力

TOEIC () 点 TOEFL () 点

討論ができる

日常会話ができる

片言

その他の外国語

討論ができる

日常会話ができる

片言

討論ができる

日常会話ができる

片言

健康状態

良い あまりよくない

常用の薬の有無 ある ない

(ある場合、具体的に記入)

アレルギー ある ない

(ある場合、具体的に記入)

ペット

医薬品

食物

その他

食事制限の有無 ある ない

ある場合、具体的に記入してください。

<例： 豚肉、海老、卵、乳製品（ミルク、バター、チーズ）>

宗教上の理由

アレルギー

その他

好きな食べ物

嫌いな食べ物、日本食で食べられない物

飲酒 お酒を飲む お酒を飲まない

喫煙 煙草を吸う 煙草を吸わない

ペットは好きですか？ はい いいえ

いいえの場合、具体的に 犬 猫 その他

海外旅行経験

時期・期間	国名	目的
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

趣味・特技

将来の希望（職業など）

日本について興味のあること

日本滞在中に学びたいこと、知りたいこと

自己PR

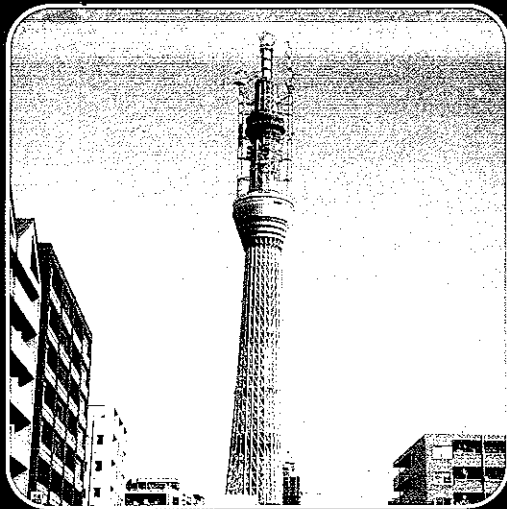
(添付)

2011JAL スカラシップ日本研究プログラム 日程

DATE	日付	曜	行動案	夜宿泊先
1	11月12日	土	各地より来日	東京
2	11月13日	日	財団オリエンテーション。 基調講演 夜 歓迎会	東京
3	11月14日	月	東京大学アイセック共同企画 (終日)	東京
4	11月15日	火	東京大学アイセック共同企画 夕刻～自由行動	東京
5	11月16日	水	昼羽田空港発(13時頃発) 小松空港へ 15時頃～ 白山市プログラム 18時頃～ 白山市懇親会	石川県白山市
6	11月17日	木	日本文化体験 石川オリエンテーション 金沢市観光 フィールドワーク	石川県金沢市
7	11月18日	金	フィールドワーク	石川県金沢市
8	11月19日	土	午前、グループワーク、まとめ 午後、アジアフォーラム in 石川 国際交流祭り 夜:ホストファミリー宅へ	金沢地区ホームステイ先
9	11月20日	日	金沢地区ホームステイ	金沢地区ホームステイ先
10	11月21日	月	午前:金沢→奈良に移動 午後:自由行動	奈良
11	11月22日	火	午前:奈良オリエンテーション 講義 フィールドワーク 夜:セミナーハウスで交流会	奈良
12	11月23日	水	フィールドワーク	奈良
13	11月24日	木	午前、まとめ&発表 午後、昼食後寺院訪問 夜:大阪伊丹空港→東京羽田	東京
14	11月25日	金	日中:活動総括 夕刻:ホストファミリー宅へ	東京地区ホームステイ先
15	11月26日	土	東京地区ホームステイ or フィールドワーク	東京地区ホームステイ先
16	11月27日	日	東京地区ホームステイ or フィールドワーク 夕刻:修了式/懇親・送別会	東京
17	11月28日	月	各国に帰国	-

※行動案は予定であり今後変更となる可能性があります。

※東京地区ホームステイは、事情によりフィールドワークに変更させていただく場合があります。



The 42nd Program



2011 JAL SCHOLARSHIP PROGRAM

“活気あふれる日本を再現するためには
～語ろう、探ろう、日本の強み・日本の弱み”

2011年11月12日(土)～11月28日(月)



2011 JAL SCHOLARSHIP PROGRAM

JALスカラシッププログラムとは

1975年に日本航空によって創設された当プログラムは、毎年アジア・オセアニアの大学生を日本に招待し、研修や文化交流を通じて日本への理解や、国境を越えた相互理解を深め、併せて将来のアジア・オセアニア地域を担う「21世紀の地球社会に資する人材」の育成を目的としております。これまでに1,436名の学生を迎え、卒業生の多くは、広く世界で活躍しております。

2011 JALスカラシッププログラム

1、期間：2011年11月12日(土)～11月28日(月) 計17日間(予定)

2、内容：①基調講演

プログラムのテーマについて、全般的認識を深めてもらいます。

②フィールドワーク

プログラムのテーマについて、施設見学や、日本人学生も交えての現地踏査、取材やインタビューなど、現場に足を運んで学習する機会を提供します。

③「アジアフォーラム」(金沢)

石川金沢で、フィールドワークの成果を公開シンポジウム場で発表していただきます。

④ホームステイ(東京、金沢)

日本人の生活習慣や行動様式などを体験し、知識と親睦を深めます。



開催テーマ設定:

“活気あふれる日本を再現するためには～語ろう、探ろう、日本の強み・日本の弱み”

(スカラとして参加していただくにあたって)

最近、日本では、世界の中での日本の存在感は、この20年間で著しく低下してしまったと言われています。新興国が台頭していることが、その要因のひとつとも言われていますが、海外に留学する日本人学生の減少や海外勤務を望まない新入社員が増加していることを聞くと、やはり、最近よく耳にする日本人の「内向き」志向という言葉は、危機に瀕する日本を象徴するキーワードのひとつであり、積極的に世界と関わろうとしない内向きの姿勢が日本の存在感を低下させている理由のひとつであるとも思われます。

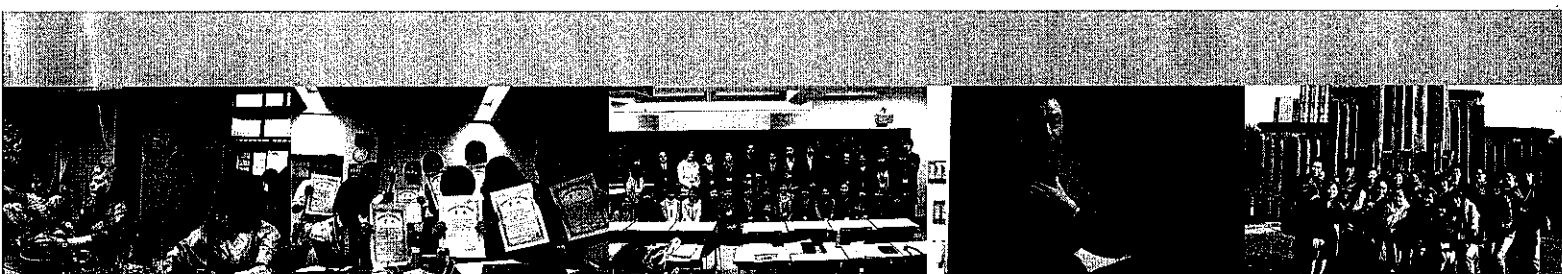
JALスカラシッププログラムはこれまで戦後復興を成し遂げ、アジアの中で先駆けて経済大国として発展した日本を、実際にアジア・オセアニアの学生達に自分たちの目で見てもらうことにより、将来のアジア・オセアニアを担う若者を育成し、国境を越えた相互理解を深めることを目的として、1975年に創設され、今日までに至っていますが、今年は、視点を変え、急速に成長するアジア・オセアニア諸国で日本に興味・関心を持つ学生達と現代の日本の若者が直に交流することを通じて、将来を担う学生を含む我々日本人に対して、何か日本を元気にする知恵や活力を与えてほしいという趣旨を柱として実施したいと考えています。

同時にスカラシッププログラムに参加するアジア・オセアニア諸国の学生達には、その目を通して見た日本人が気づかない日本の良さを、スカラシッププログラムに参加する各国の学生との議論

費用について

プログラムの実施期間中、個人的費用(電話代、土産物費用など)を除く、以下の旅行費用は主催者が負担いたします。

- ①航空券:スカラーの居住する最寄りの日本航空就航地と東京間の往復券
- ②プログラム期間中に日本国内で発生する交通費
- ③宿泊費
- ④飲食費
- ⑤海外旅行傷害保険



を通じて再認識してもらい、日本のファンになってもらうことはもちろんのこと、自らの国の将来のために、日本を反面教師として得られる何かを持ち帰ってほしいとも思っています。

有意義な研修プログラムとなるように、是非、日本を勉強し、日本に興味のあるアジア・オセアニアの学生達の参加をお待ちしております。

(日本人学生として参加していただくにあたって)

日本において、今の若者をみる世間の目は、厳しいものがあります。「ゆとり教育世代」「内向き」「草食系」「保守的」「元気がない」等々。2010年はそうした傾向が特に顕著に報道された一年だったと思います。また、少子高齢化、長期の経済低迷、国家財政の逼迫など、将来的に見ても日本にとってなかなか明るい兆しは見えてきません。

その一方で、就職活動の早期化、新興国での物価水準の上昇、渡航費用の増加傾向などの要因があり、こうした若い方々が海外に出かけにくい客観的な環境からも、特に留学など長期の渡航には大きな覚悟が必要です。一概には若者全てが「内向き」志向ではないのだということを、信じたいと思います。

今回、私ども日航財団が提供するこのプログラムは、そうしたジレンマを抱える学生の皆様にとって、まさに打って付けのものだと思います。短期間ではありますが、成長著しいアジア・オセアニアの多様な国から日本に興味をもって勉強する学生を招聘いたします。

彼らの新鮮な視点と高いモチベーションに触れて日本の良さを再認識し、そしてこれからの日本を率先して元気にして次の世代に託していきたい、そのようなVisionに共感していただける皆様のご参加をお待ちいたしております。

Applicant requirements

スカラーへの応募基準：

語学要件：原則として、日本語能力検定試験 1級程度以上
(講義、ディスカッションが日本語で行われることから、それに耐え得る日本語能力を有していること)
対象支店所在国(地域)の出身で、国内(地域内)の大学・大学院に在学していること。
20歳以上であること。
明るく協調性があり、健康であること。
日本に興味・関心があり、文化・習慣を積極的に体験する意思があること。
原則として日本に半年(6ヶ月)以上の滞在経験がある方は除く。

参加いただく上での留意点：

プログラムの運営に積極的に協力し、規律を守ること。
本プログラムは研修目的であり、団体行動となります。よって、
個人の事情による別行動は一切認められません。
全ての企画されたプログラムに参加すること。
指定された交通機関を利用すること。
来日、帰国の際には、主催者の指定する航空便を利用すること。
個人的な理由による来日・帰国時の、搭乗日、搭乗便の変更は一切認められません。
プログラム開始前の事前課題及び終了後のレポートに取り組み、主催者が指定する日までに、
レポートを提出すること。

Japan Airlines branch offices

世界各地域によって、募集形態が異なっております。つきましては、お問い合わせ先は、このパンフレットを
配布した組織の指定に従っていただきますよう、お願い申し上げます
以下はお問い合わせがつかない場合の、日本航空の海外地区支店等のe-mailアドレスです。

Australia : syd.sales@jal.com

Korea : kyung-lynn.kim@jal.com

北京 : org.bjssu.jali@jal.com

上海 : org.shassu.jali@jal.com

広州 : org.canskg.jali@jal.com

大連 : org.dlcku.jali@jal.com

香港 : org.hkgssp.jali@jal.com

台北 : org.tpessg.jali@jal.com

高雄 : org.khhsku.jali.@jal.com

Ho Chi Minh City : org.sgnskz.jali@jal.com

Hanoi : org.hansku.jali@jal.com

Malaysia : org.kulssp.jali@jal.com

Singapore : sinssg@ml.jal.com

Thailand : org.bkkssg.jali@jal.com

Philippines : rosalie-martha-r.bailon@jal.com

Indonesia : org.jktssg.jali@jal.com

日航財団(JAL Foundation) : scholarship.jali@ml.jal.com

主催：財団法人日航財団

協賛：日本航空